

古事類苑

動物部十七

魚中

鯛名稱

〔新撰字鏡〕鯛都聊反、太比、鱧禮音、太比

〔本草和名十六〕鯛音徒反、又有出崔禹、龍魚治體相似、和名多比、

〔倭名類聚抄十九〕鯛 崔禹錫食經云都條反、和味甘冷無毒、貌似鯽而紅鱗者也、

〔箋注倭名類聚抄八〕按說文、鯛骨端脆也、非此義、玉篇廣韻竝云魚名、是蓋崔氏所云者、又按崔氏

狀鯛云、似鯽而紅鱗、其爲太比無疑、西土後世所謂棘鬣、即是閩中海錯、疏棘鬣似鯽而大、其鬣如棘

紅紫、嶺表錄異名吉鬣、泉州謂之鬣鬣、又名奇鬣、

〔類聚名義抄十〕龍魚クロタヒ 平魚タヒ 鯛音貂、タヒ 魴音方、タヒ 鱒或、タヒ 鮪タヒ

〔伊呂波字類抄知〕海鯽チヌ 〔同太〕鯛タヒ

〔和爾雅六〕棘鬣奇鬣、吉鬣、赤 紅魚アカノ、江魚之名也、 烏ス、イ、キ、タイ 類魚閩書 黃ハ、ナ、フ、レ、ダイ 稽魚閩書 海鯽チ、ナ、ヲ 閩書

龍魚クロダイ、與海鯽相、似而不、同 金線魚金線、ダイ

〔日本釋名中〕鯛 たいら魚也、其形たいら也、故に延喜式に平魚とかけり、又俗語にひらと云或曰、棹尾、

鮮道味、ヒ 魚朝鮮の名也、

〔東雅十九〕鯛鱗介、鯛タヒ 舊事紀に天孫の尊の海神の宮に赴き給ひし時の事、其、まゐるされし所に見え

し魚の名、赤女即鯛也とまゐるされたり、古事記にはまた赤海鯽魚とまゐるし、日本紀にまゐるされし